

看護職臨床リーダー

2022.3改訂 ふくの若葉病院

レベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
ニーズをとらえる力	レベル毎の目標 助言を受けながら患者や家族のニーズをとらえることができる	患者や家族のニーズを自らとらえることができる	患者や家族を取り巻く状況や、身体的特性をふまえて、ニーズをとらえることができる	患者や家族を取り巻く状況を統合しニーズをとらえる	患者や家族を取り巻く状況の関連、意味をふまえてニーズをとらえる
	行動目標 ①機能的健康パターン11項目を理解できる ②助言を受けながら、機能的健康パターンの視点に基づいて受け持ち患者の情報を得ることができる ③助言を受けながら、担当患者の看護計画の立案ができる ④患者・家族と良好な関係構築ができる	①患者のニーズや患者に存在する問題点を捉える為に、必要な情報を意図的に収集することができる ②患者・家族と良好な関係構築をするためのコミュニケーションスキルを身に付けることができる	①対象を全人的にとらえた観察ができる ②情報の統合と考察により、看護介入上の問題点やニーズを明確にできる	①治療やケアの方向性を把握し、患者・家族のニーズとのすり合わせができる	①根拠を明確にしなが、看護上の問題点を導き出せるよう指導的な関わりができる
ケアする力	レベル毎の目標 助言を得ながら基本的な看護援助が安全に実践できる	看護援助を自立して安全・安楽に実践できる	患者の状況や特性をふまえて、個別性のある看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	行動目標 ①カルテの書き方がわかる ②適切な表現で記録できる ③助言を受けながら、立案された看護計画を実践できる ④医療安全に必要な知識・行動を理解し実践できる	①情報をもとに、自立して看護計画立案と実践ができる	①患者ニーズや問題点の優先順位を考慮した個別性のある看護計画を立案できる ②実施した看護の有効性を考察し、評価・修正できる	①複雑な対応が必要となる場合にも、解決に向けた適切な計画立案と実践ができる	①看護実践の役割モデルとなり、専門性を発揮し、指導的な行動ができる ②複雑な対応が必要となる場合にも、解決に向けた適切な対応を助言できる
協働する力	目標 医療チームに必要な多職種を理解し協力できる	医療チームメンバーとして、協力的に行動できる	他職種と連携した看護実践ができる	患者を取り巻く他職種の力を調整し、連携できる	患者の複雑なニーズに対応できるように、他職種の力を引き出し連携できる
	行動目標 ①チームメンバーと良好な関係構築ができる ②チームメンバーの一員として協力・連携をとることができる	①看護展開に必要な関係者を特定し連携できる ②チームメンバーや他職種の思いや考えを知り、連携して実践できる	①個別なニーズに対応する為に、他職種に働きかけることができる ②医療チームの一員としての看護の役割を発揮できる	①各職種の役割や機能を維持・向上できる関わりができる ②結果を予測しながら他職種連携の必要性を見極め、主体的に協力し合う	①複雑なニーズに対応するために、自律的な判断のもと関係者に働きかけができる ②関係する職種間の中心的役割となり、活力を引き出すことができる
意思決定を支える力	レベル毎の目標 患者や周囲の人々の意向を知ることができる	患者や家族などの意向を自らとらえ、受け止めることができる	患者や周囲の人々の意向を理解し、支援できる	患者が、その人らしい選択ができるための意思決定を支えることができる	複雑な意思決定プロセスにおいて、他職種も含めた調整的役割を担うことができる
	行動目標 ①助言を受けながら、患者や周囲の人々の思いや希望を知ることができる	①確認した患者や家族の思いや希望を看護に関連づけることができる。	①意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護実践ができる	①倫理的課題を理解し、意思決定支援プロセスを理解し、支援者として行動できる	①法のおよび文化的配慮など、多方面から患者・家族を理解し、価値を尊重した意思決定を支援できる
組織の一員としての自覚・役割	レベル毎の目標 ふくの若葉病院の職員として、責任ある行動ができる	職員として、与えられた役割を理解し、行動できる	組織向上に向けて協力できる	組織目標や方針を理解し、達成に向けた組織づくりに協力できる	組織の方針を実現するために、資源を活用し、看護組織を築くことができる
	行動目標 ①社会人としての基本的マナーを身につけ、行動できる ②病院理念や当該部署の目標を理解できる	①委員会や組織事業に参加し、協力できる	①リーダーシップ・メンバーシップを発揮し、部署目標の達成に向けて行動できる ②医療安全意識を高く持ち、部署全体の風土づくりに協力できる ③日常の看護実践や業務に問題意識を持ち、研究的視点を持って行動できる	①組織目標や部署目標達成に向け、全体的な活動ができる。 ②スタッフの能力や考えを考慮し、安全で適切な看護提供のための業務調整ができる	①病院運営の中長期目標を理解し、達成に向けて部署の役割を考慮することができる ②療養環境・業務環境について状況把握と分析をし、質の高い実践ができる組織文化をつくることができる
人材育成	レベル毎の目標 院内研修に参加し実践に活かすことができる	人材育成に関心を持ち、協力できる	人材育成メンバーの役割を理解し、働きかけができる	人材育成事業に積極的に取り組むことができる	看護・介護人材を組織的に育成できる
	行動目標 ①院内教育計画を理解し、研修への参加と自己学習ができる	①新人に関心を持ち、相談相手や支援者としての行動ができる	①看護・介護部の指導体制を理解し、育成支援者として働きかけができる	①院内外の教育体制・研修計画を理解し、支援者として働きかけができる	①個々のスタッフの能力向上の支援ができる